

どっ&こむ!

Kyotango City Sports Association

GoSports

Vol. 54
2025.3



一般社団法人 京丹後市スポーツ協会

主題『夢・感謝・信頼』

講師 アテネオリンピック銅メダリスト
日本レスリング協会強化本部長

井上 謙二氏

ピックを目指してわかった現実
講師 パリオリンピック銅メダリスト

高谷 大地選手

スポーツ講演会



井上謙三氏

高谷 大



吉岡 治先生



3月15日(土) アミティ丹後において、パリオリンピック・レスリングフリースタイル74kg級銀メダリスト高谷大地選手、アテネオリンピック銅メダリストで日本レスリング協会強化本部長の井上謙二氏をお迎えし、講演会を開催しました。

井上さんは、中学生の時の夢の一つが選手になること。その中で現役時代に靱帯断裂で手術を経験し、リハビリを経て再びタックルができるようになったことで、またレスリングができる喜びを感じ、当たり前時には見えなかったことが有難いと思えたことなど話され、選手引退後の2018年から、二つ目の夢の指導者としての道のりや練習環境の大切さなどをお話していただきました。

高谷さんは、幼少期からレスリングをされていたが、オリンピックを視野に入れるきっかけになったのは兄の惣亮さんのロンドン五輪の時だったそうです。そこからは65kg級から74kg級へ変更されパリ五輪では「最後まで攻め続けよう」「タイマーが鳴るまでは終わりではない」など当時の心境を話されました。今現在は次期オリンピックに向けての充電とレスリングの普及活動や指導に向け世界を飛び回っておられます。

最後に、二人の恩師でもある丹後緑風高校レスリング部顧問の吉岡 治先生に二人の思い出をお話していただきました。

講演後の練習会では、5歳から高校生までが参加、高谷さんの指導の中行われました。

参加者は、高谷さんや井上さんの言葉に熱心に耳を傾け練習を行っていました。

